



消防団たずね歩き

～ウォーターフロント「ハーバーランド」で活躍する中央消防団～

中央消防団第10分団の紹介をします。分団員は14人、東はハーバーランド、西は兵庫区との境界である「西国街道」、と神戸市中央区西端を管轄しています。第10分団の活動は多岐にわたります。

平常時は主に東川崎防災ジュニアチームの訓練指導を担当し、中央消防署栄町出張所消防第1係の皆さまとともに「署と団が連携した指導」をおこなっています。日々成長されるジュニアの皆さんに驚かされることも多く、団員としての活動のやりがいもあります。今では出初式でポンプ操法を披露するまでの腕前になっています。将来ジュニアチームの卒業生から、消防吏員や消防団員が誕生すればと熱い思いを抱きながら指導をさせていただいています。

さらに、多くの方がお越しになる「みなとこうべ海上花火大会」では、メリケンパークも多くの見物客で賑わいますので、我々第10分団が警備に当たっております。

また、第10分団の詰所はJR神戸駅西出口すぐそばにあり、来年度には老朽化に伴い詰所移転が予定されています。

災害活動は、昨年、今年と台風による被害が続き、皆さまも記憶に新しい7月豪雨では中央区でも浸水被害が相次ぎました。第10分団も昼夜を問わず防潮堤の警戒対応に追われました。町内は床上、床下浸水被害

も多数発生し、地域内では10年に一度といわれている浸水が、去年、今年を合わせて3度発生しており、異常気象が通常になろうとしています。そんな中、逃げ遅れて車内に取り残された男性を救助しようとする団員の姿は、新聞記事に掲載され、記事を通して水害の恐ろしさと危険を広くたくさんの方々へお伝えすることとなりました。

変わりゆく災害に消防団が対応するため、日々の訓練は欠かすことができません。

南海・東南海トラフ地震等の大災害を常に想定し、神戸の被害を最小限に食い止め、団員自身の生命を含む、地域の皆さまのいつもの日常、当たり前の日々をお守りすべく、後藤安啓分団長を筆頭に団員全員が知識・技術の向上に努めます。

今後も消防署、地域の皆さまとともに歩んでいきますので第10分団ならびに中央消防団の活躍にご期待ください。

最後はJICAよりジャマイカの消防士、防災関係者、神戸学院大学の皆さまが訓練に参加視察にお越しになった時の様子を掲載します。（中央消防団第10分団 北川裕也）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

